

# 旺文社 高校公民 校正テスト

次の問題と解答・解説を見て、校正してください。内容はもちろんのこと、書体・文体・レイアウトなどすべての面で間違いを見つけ、訂正の指示を入れてください。

**1** 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 老子の思想を受け継いだとされる荘子の思想の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間の心が善か悪かと議論することを<sup>しりぞ</sup>け、情や欲を含む心のあり方自体が宇宙の理の現れであると説いた。
- ② 理気二元論に基づき、人間修養においては理を抑制して気を発揮することが重要だと説いた。
- ③ 大小や美醜といった区分は相対的・人為的なものにすぎず、万物は本来等価であると説いた。
- ④ 苦の原因は永遠なるものに固執する迷いの心であり、この煩惱を滅することで安らぎの境地へと至ることができると説いた。 [ ]

(2) スピノザの思想について述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

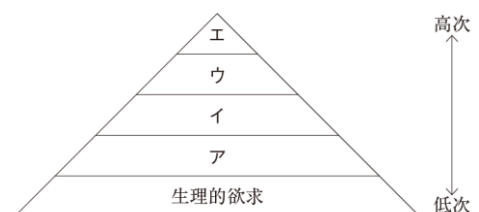
- ① 「神即自然」と表現される立場から、自然界のすべては神から必然的に発生するものだとする汎神論を唱えた。
- ② 古代のデモクリトスの原子論を発達させ、世界は単子（アトム）によって構成されるという思想を唱えた。
- ③ 知識の源泉は観念であると考え、人はその生得的な観念を出発点に経験を重ねることで確実に知識や認識を獲得すると唱えた。
- ③ 因果関係さえも客観的な必然ではなく主観的な確信にすぎないとする、哲学的懐疑論を唱えた。 [ ]

(3) 明治期およびそれ以降に活躍した思想家についての記述としてもっとも適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 西田幾太郎<sup>にしだ きたろう</sup>は、主観と客観とを区別しない西洋哲学の前提を批判し、両者を明確に峻別した純粋経験を重視した。
- ② 柳田国男<sup>やなぎ くにお</sup>は、日本の文化の在り方を探るためには、民間伝承のような客観性のない史料に頼ることを否定し、文献読解を中心とする民俗学を打ち立てた。
- ③ 西村茂樹は、儒学を根幹にしつつ西洋哲学の長所をも取り入れた「国民道徳」を、国家の基本<sup>す</sup>に据えるべきことを主張した。
- ④ 幸徳秋水<sup>こうとくしゅうすい</sup>は、「デモクラシー」の本質は、主権の所在には関係なく、民衆の福利を重んじることにありとして、これを「民本主義」と訳した。 [ ]

(4) マズローは欲求を五つに区分し、それらが右の図のような階層構造をとっていることを指摘した。図中のウに入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 所属と愛情の欲求      ② 自己実現の欲求
- ③ 安全への欲求          ④ 自尊の欲求          [ ]



**2** 次の(1)・(2)の問いに答えよ。

(1) 各国の政治制度の記述として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

- ① アメリカでは、下院は大統領に対する不信任を決議することができる。
- ② イギリスの首相は、上院によって指名され下院によって任命される。
- ③ フランスの大統領は、議会の解散権など強力な権限を有している。
- ④ 中国では、厳格な三権分立制が採用されている。

[       ]

(2) 日本国憲法の人権規定についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 教育を受ける権利が保障されているとともに、義務教育の無償化があわせて規定されている。
- ② 生存権の保障が規定されているとともに、国に社会保障などの向上・増進に努める義務が課せられている。
- ③ 財産権は公共の福祉によって制約されることから、私有財産を公共のために用いる場合に補償の必要はないとされている。
- ④ 全体の奉仕者である公務員を選定・罷免する権利を、国民固有の権利であると規定している

[       ]

**3** 次の(1)・(2)の問いに答えよ。

(1) 一般的な財政・金融政策についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① 不況期に、政府は所得税などの減税を実施するとともに、公共投資などの財政支出を縮小させる。
- ② 好況期には、累進課税によって税収が増加するとともに、社会保障支出が縮小するため、有効需要が自動的に抑制される。
- ③ 不況期に、中央銀行は預金準備率を引き下げて、通貨量を縮小させようとする。
- ④ 好況期に、中央銀行は市中銀行が持つ有価証券を買い上げることによって、市中銀行の持ち資金を増加させようとする。

[       ]

(2) 市場機構に基づく価格や需給の変化についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 広告・宣伝によって、ある財に対する消費者の好みが増大すれば、その財の価格は下落する。
- ② 技術革新によって、ある財の生産性が大幅に向上した場合、その財の価格は下落する。
- ③ 価格が上昇すると、消費者は購入量を増やそうとし、生産者は生産量を減らそうとする。
- ④ 生活必需品の価格が下落した場合、ぜいたく品の価格が下落した場合よりも、その需要量は大きく増加する。

[       ]

(2) ある年のGDP(国民総生産)が220兆円、その前年のGDPが200兆円であったとする。対前年度物価上昇率が5.0%であったとすれば、この年の実質経済成長率は何%か。最も近い数値を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 10.0%    ② 9.1%    ③ 6.1%    ④ 4.8%

[       ]

## 解答・解説

解答

1 (1) ③ (2) ① (3) ③ (4) ②

2 (1) ③ (2) ③

4 (1) ② (2) ④ (4) ④

解説

- 1 (1) 荘子の無為自然の説明になっている。①ブッダの思想。②朱子の理気二元論。④王陽明の心即理の説明。
- (2) ②単子論を唱えたのは、ライプニッツ。しかし、単子論は原子論を発達させたものではない。③ロックの説明。彼は、知識の源泉を観念だと考え、その観念の在りかである心はもともとフェアネス（公正）であるとした。つまり、彼は「生得的な観念」を否定し、観念はすべて経験によってもたらされると論じたのである。④パークリーの説明。彼は原因と結果（因果関係）も、それが連続して起こるために結びつけられた主観的な確信でしかないと言う。
- (3) 西村茂樹は、西洋思想にも通じていたが、日本の伝統的な道徳である古神道を根幹に据えるべきだと説いた。また、国家の基本は法律などにあるのではなく道徳にあるとして、国家を支える「国民道徳」の教化を主張した。①西田幾太郎は、主観と客観を峻別する西洋哲学を批判し、両者がまだ分かれていない状態である純粹経験を重視した。②柳田国男は、民間伝承を実証的に研究することを重視し、民俗学を打ち立てた。④幸徳秋水ではなく、丸山真男の説明。幸徳は、大逆事件で検挙され刑死した社会主義者。
- (3) マズローの欲求階層説は、下位の欲求が満たされると、一段階上の上位の欲求が高まるというものである。最も下位の欲求は「生理的欲求」であり、次いで「所属と愛情の欲求」→「安全への欲求」→「自尊の欲求」→「自己実現の欲求」と続く。
- 2 (1) ①アメリカ議会には、大統領に対する不信任決議権はない。②イギリスの首相は上院の多数党の党首が選ばれ、国王によって任命される。④中国は、権力分立ではなく、社会主義的権力集中制を採用している。
- (2) ③日本国憲法第 29 条は「私有財産は、正当な補償の下に、これを公共のために用ひることができる」と規定している。したがって、「補償の必要はない」とする選択肢は不適當。①は第 27 条、②は第 25 条、④は第 15 条を、それぞれ参照のこと。
- 3 (1) ②景気の自動安定化装置（フィスカル・ポリシー）の説明である。①「縮小」を「拡大」に、③「縮小」を「拡大」に、④「買い上げる」を「売却する」に、「増加」を「減少」に、それぞれ直せば、適當な記述になる。
- (2) ①これは需要量が増加することなので、価格は上昇する。②生産性が向上すれば、生産コストが低下して、供給量が増加するため価格は下落する。需要供給曲線を使って説明すると、下図のように、供給曲線が右方向へ移動するため、価格が  $p_1$  から  $p_0$  へと下落することが分かる。③価格が上昇すれば、消費者は買いづらくなるので購入量は増加するし、生産者は利幅が大きくなるので生産量を減らそうとする。④生活必需品の場合、価格が下落したからといって購入量をさほど増やそうとはしないので、ぜいたく品と比べてあまり増加しない。
- (3) 次のように計算する。実質経済成長率 =  $\{ (220 \div 1.05) - 200 \} \div 200 \times 100 \approx 4.76$  (%)

